

平成30年度 認定こども園さめ保育園 施設関係者評価員会議

日時	平成31年3月9日(土) 13:30~14:00
参加者	評価委員3名、園長、主幹保育教諭 計5名
欠席者	評価委員3名 計3名
議題	○認定こども園さめ保育園職員自己評価報告 ○平成30年度保護者アンケート結果報告 ○評価

○職員自己評価報告

教育計画や指導計画に設定したねらい・目標に向け、生きる力の基礎を育むための資質能力及び幼児期の終わりまでに育ってほしい姿を踏まえ、園児の園生活に沿った柔軟な保育をおこなう事ができた。

また、園児の健康・発育発達状況の把握を行い、疾病等の発症予防に努めながら適切に対応する事ができ、今年度はインフルエンザ発症者がひとりもいなかった。

今年度から取り組んだ「ふれあい広場」は、認定こども園の特性を生かし、地域の未就園児に親しみやすい雰囲気を利用者に積極的に参加して頂けるよう努めることができた。

社会福祉法人白銀会で取り組んでいる「みんなの食堂」には、主幹保育教諭を中心に参加しているが、地域貢献活動は職員全員で周知理解し取り組んでいけるようにしたい。

キャリアアップ研修をはじめ研修参加により知識・技術の習得ができた。今年度新たに施行された幼保連携型認定こども園教育・保育要領に基づき更に内容を充実させると共に、より理解を深め家庭との連携を図りながら自園の教育・保育の向上に努めていきたい。

○保護者アンケートの結果報告について

アンケート回収率は昨年度より上回り90%(47家庭/52家庭)の高回収率となり、全体的に良い評価をいただいた。

昨年度課題とされていた、保育園への要望や不満は言いにくい(28%→15%)、要望や不満への対応がきちんとしていない(14%→11%)という点は改善されていることがわかり、職員一同頑張りを認められたことを喜んだ。しかし、保護者の話に耳を傾ける姿勢があるかという点においては、12%の保護者がどちらともいえないと回答しているので、職員の忙しそうな姿に話しにくいと感じているのだと反省し、業務効率化を図り保護者と話し合う時間の確保に努めたい。

園児の体力に合わせた行事の日程の見直しや入園児の説明や連絡事項についても引き続き検討し改善していきたい。

○評価委員より

今年度始まった「ふれあい広場」は広報を町内の協力のもと回覧していただき、地域住民から保育園の活動等に興味関心を持っていただく絶好の機会となり地域の子育て支援の役割を担う園となってきたと、認定こども園としての取り組みを高く評価していただいた。多種多様化するニーズもあり大変なこともあると思うが、今後も継続して取り組んでほしいと励まされた。